（別紙２－４）

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　　総括表

法人名	社会福祉法人　松涛会	代表者	斎藤　妙子
事業所名	小規模多機能　杜の宮	管理者	村岡　和佳

法人・事業所の特徴	利用者一人ひとりの人権を尊重し、住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、通いのサービス、訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援します。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	5人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認			センター方式を導入し、利用者一人ひとりを知ろうと努めているのが理解出来る。	センター方式を使って本人の思いを言語化する勉強会を行う。
B．事業所のしつらえ・環境			立地条件や敷地内外の環境は好印象である。	改善計画としては上がっていないが、環境整備を続けて励行する。
C．事業所と地域のかかわり			地域の学校行事に参加させてもらえるように働きかける。	地域の学校で交流する機会を設ける。（運動会や学習発表会等の行事）
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			ショートステイ利用者の場合は、本来の住まいと宿泊先の地域どちらで捉えるのか分からない。	個々の利用者が暮らす地域における思い出の場所等を一つでも見つけ、活用出来るようにする。
E．運営推進会議を活かした取組み			地域の取り組みが事業所に伝わり、地域行事へ参加する機会が増えている。	地域の清掃や行事の参加を継続して行い、地域で必要とされる事業所を目指す。
F．事業所の防災・災害対策			事業所の避難訓練には参加しているが、地域の防災訓練には参加出来ていないので参加して欲しい。	避難訓練に継続して地域住民の方に参加してもらい、参加できる態勢が整えば地域の訓練にも参加していく。